



希望

かかわり方を工夫する子供たち

校長 持田 裕代

桃の花も咲き始め、訪れる春をすぐそこに感じます。今年、卒業する6年生は68名です。3月は、6年生が中心となって創り上げてきた学校の行事や校風を下学年に引き継いでいく時期です。今年度は、委員会の活動の中に創意・工夫がたくさん見られました。

代表委員が企画した2学年ずつの「仲良し集会」は、「もっと友達が増えるように」という願いをもって企画した集会です。一異学年同士じゃんけんをして「あいこ」になったら「ハイタッチ」、お互いのカードにサインを書いてまた次の友達を探す—子供たちは交流を通して人とかかわる楽しさを体験することで、人とのかかわり方を学びます。NHK全国学校音楽合唱コンクール中学校の部 課題曲「プレゼント」の歌詞には、「知らない」から「嫌い」と感じてしまう気持ちが表現されています。

「知らない」という言葉の意味 間違えていたんだ 知らない人のこと いつの間にか「嫌い」と言っていたよ 何も知らずに 知ろうとしなかった人のこと どうして「嫌い」なんて言ったのだろう 流されていたんだ
「知らない」ことは怖いから 醜い言葉ばかり吐き出して 誤魔化して 自分のことまで嫌わないで

友達とのかかわり方を知らないために思いがすれ違い、自信をなくすことがないようにしていきたいです。これからも子供たちの発意・発想を生かした実践を通して、一人一人の自己肯定感を高め、友達とかかわる楽しさを創り出す学校でありたいと考えます。今年度はまだ残り一か月あります。子供たちがこれまで学んだ力を十分に発揮して晴れ晴れとした気持ちで、修了式・卒業式を迎えられるように努めます。

天童交歓行事

6年 担任

3月18日(土)～20日(月)に、山形県天童市立干布小学校の6年生が四谷にやってきました。夏の交歓行事では天童の方々に温かく迎えていただきました。春は四谷小の子供たち、教員、地域の方々と協力して天童のみなさんをお迎えます。以下、子供たちの声です。

- 私は、天童の友達に東京を案内してあげることが楽しみです。一緒にお台場に行ったり原宿に行ったりしてもっと仲良くなりたいです。
- 春の交歓会で楽しみなことは民泊です。買い物をしたりご飯を食べたり楽しみなことがたくさんあります。
- ぼくのパートナーとまた会えることが楽しみです。一緒においしいものを食べ、サッカーやゲームをしたいです。
- みんなでお台場で遊んだりランチルームで食事をしたり6年生の最後にすごく楽しみなことがあってうれしいです。
- 手紙でやり取りをされていて仲良くしています。でも手紙では表情や声は伝わらないので会って遊んだり話をしたりできることが楽しみです。
- 金管バンドの演奏で温かく迎えてたいです。天童ではいろいろな所に連れて行ってもらいお世話になっているので、恩返しをしたいです。
- 夏の天童交歓会には出席していませんが、干布小のみんなとたくさん話して、仲良くなりたいです。

校長室トーキングタイム
3月6日(月)、3月9日(木)



感謝の気持ち

1年3組担任

入学式では、ぴかぴかのランドセルを背負い、大きな期待を抱きながらも少し不安そうな表情をしていた子供たち。早いもので1年が経とうとしています。

先日、行われた6年生を送る会では、お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えるために、歌と呼びかけの出し物をしました。クラスの呼びかけ担当を決める際には、児童全員が立候補しました。私はこれまで「全員立候補」というのは、見たことがありません。子供たち一人一人の、お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えたいという真剣な表情に、胸が熱くなりました。6年生を送る会本番では、練習した成果を発揮して、素晴らしい歌と呼びかけで6年生に「ありがとう」を伝えることができました。

4月には、2年生になります。友達とかかわり合う場面を大切にしながら「人に感謝を伝え、人に感謝されるような2年生」を目指して残りの日々を指導してまいります。

最高学年に向けて

5年2組担任

早いもので5年生としての登校日は、17日間となりました。先で行われた「6年生を送る会」では、6年生から5年生への校旗の引き継ぎがありました。全校が見守る中で、5年生が最高学年として下学年のお手本になるという自覚、責任、そして四谷小学校の伝統が、校旗とともに引き継がれました。今週からは5年生が校旗を掲げています。6年生の偉大さを実感しながら仕事を引き継いでいる5年生です。

「教室や廊下の掃除を一生懸命にする」「気持ちの良い挨拶をして下級生の模範となる」など、最高学年となる自覚をもち、お手本となれるように過ごしてほしいと思います。

卒業式には在校生代表として参加します。6年生の門出に、リコーダー奏や歌を感謝の気持ちを込めて贈りたいと思います。

春休みの過ごし方

生活指導主任

春休みは、進級や進学に向けての準備をする大切な時期です。しかし、学校からの課題や行事も少なく、緊張感が緩み、解放的な気持ちになりがちで事故や非行が発生しやすい時期です。

春休みの過ごし方については、気をつけてほしいことを児童に指導するとともに、それぞれの学年の保護者会でも担任からお話させていただきました。

詳しくは学校から配布します「春休みの過ごし方」のプリントをぜひお読みください。

子供たちが健康かつ安全に充実した毎日を過ごし、新しい学年を元気に迎えられるように、ぜひお子さんと春休みの過ごし方について話し合い、ご家庭でも安全に過ごすための約束をし、声をかけてくださるようお願いいたします。

また、暖かくなり地域の公園など外で遊ぶ機会も増えると思います。事故や事件に巻き込まれないようにするだけでなく、公共の場ではマナーを守って過ごすようご家庭でも話し下さい。